

＜施策の取組状況及びKPIの進捗状況＞

【基本目標①】

○3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

(1) 産業振興・雇用創出

①国内外への市場拡大及び新商品開発支援

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
新商品開発支援件数	—	3件	0件	2件	0件	5/16件	20件 (5年累計)	D
国内外への市場拡大 や企業誘致・起業・ 創業の拡大による雇 用創出数	—	10人	50人	8人	24人	92/ 120人	150人 (5年累計)	C
ビジネスマッチング 商談件数(圏域)	—	531件	456件	711件	651件	(2,349) 達成	1,800件 (5年累計)	A
漁業所得	15.2億円 (2013年)	15.3億円	21.9億円	25.6億円	未公表	—	19億円 以上	—

平成30年(2018年)の取組状況

- ・水産加工大賞が開催されなかったことから、新商品の開発支援件数は伸びなかったが、Sea級グルメ全国大会等への参加により、既存商品のPRに努めた。伯州綿については、地域おこし協力隊の活用や民間企業、他地域特産品等との連携を図りながら情報発信、商品開発、販路拡大等PRに努めた。
- ・「第2期 浜の活力プラン」を作成し、令和元年からの新たな取り組みを協議した。

②農業・水産業の担い手育成・確保

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
新規就農者	—	3人	0人	0人	2人	(5人) 達成	5人 (5年累計)	A
新規漁業就業者	—	15人	10人	16人	11人	(52人) 達成	50人 (5年累計)	A
「伯州綿」学習・ 体験事業開催数	—	4回	14回	20回	28回	66/56回	70回 (5年累計)	B

平成30年(2018年)の取組状況

- ・新規就農については、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施した(就農応援交付金:1件、青年就農給付金:7件、就農条件整備事業:4件)。
- ・「伯州綿」学習・体験事業を前年実施した市内の小中学校や幼稚園に加え、松江市の保育園や障がい児童施設に出向き、伯州綿に触れ合う機会を創出した。

③企業誘致及び起業・創業の拡大

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
誘致企業数	—	2社	1社	5社	2社	10/12 社	15社 (5年累計)	C
起業・創業社数	—	5社	5社	5社	6社	21/20 社	25社 (5年累計)	B
起業・創業支援件数 (相談対応含む)	—	相談21件 創業14件	相談21件 創業14件	相談17件 創業12件	相談18件 創業10件	(127) 達成	100社 (5年累計)	A
国内外への市場拡大 や企業誘致・起業・ 創業の拡大による 雇用創出数〔再掲〕	—	10人	50人	8人	24人	92/120 人	150人 (5年累計)	C

平成30年(2018年)の取組状況

- ・小売業者など2社の誘致企業があり、飲食店などの6社の起業・創業があった。雇用創出数は靴用品の工場や菓子メーカーなど工場が新設され新規雇用が増えた。

(2) 観光の振興

①観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
水木しげるロード 年間観光入込客数	230万人	197.2 万人	214.7 万人	204.1 万人	273.4 万人	—	年間200 万人以上 を維持	B
水木しげる記念館 入館者数	20.4万人	18.07 万人	20.34 万人	17.37 万人	23.45 万人	—	年間20 万人以上 を維持	B
水産観光イベント 来場者数	4.6万人	5.05 万人	5.09 万人	5.21万 人	4.78万人	4.78/ 5.32万人	5.5万人	C
山陰いいものマル シェ来場者数(圏域)	—	4.5万人	3.3万人	2.3万人	—	10.1/ 15万人	15万人 (3年累計)	C
クルーズ客船寄港 年間観光客数	1.4万人	1.94万人	3.96万人	6.65万人	6.12万人	6.12/ 5.88万人	7万人	B

平成30年(2018年)の取組状況

- ・7月に水木しげるロードがリニューアルオープンし、夏休み中の水木しげる記念館の閉館時間を延長や土曜夜市の復活などで年間270万人突破した。
- ・水産観光イベントとして、水産まつり・まぐろ感謝祭・カニ感謝祭・境漁港見学ツアーを実施。加えて、沿岸漁業者による中野港漁村市の開催や、民間企業によるセーリング体験や、クルージング等の新たなレジャー事業の展開など、官民が連携して、水産資源を生かした観光の推進を行っている。

② 外国人観光客の誘客促進

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
クルーズ客船寄港 年間外国人観光客数	1.1万人	1.39万人	1.91万人	4.21万人	5.23万人	達成	5万人	A
国際線利用者数（ソ ウル便・香港便・チ ャーター便）	3.8万人	3.99万人	5.23万人	7.76万人	10.4万人	達成	9.5万人	A
DBSクルーズフェ リー乗客数（境港～東 海間）	1.7万人	2.77万人	2.81万人	3.37万人	2.63万人	—	年間3万人 以上の維持	C

平成30年（2018年）の取組状況

- ・境港管理組合を事務局とし、鳥取島根両県や中海・宍道湖・大山圏域市長会構成市、商工会議所や観光協会等で組織する境港クルーズ客船環境づくり会議が中心となって、クルーズ客船の誘致活動や、客船寄港時のおもてなしイベントや観光案内、二次交通対策を実施した。
- ・国際線利用者数については、香港便の就航（H28.9月）やソウル便のLCC^(※)化（H28.10月）の影響により、利用者数が大きく伸びた。
（ソウル便：73,041人、香港便：30,867人、チャーター便：188人）
（※）LCC…Low Cost Carrierの略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社のこと

③ 米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
年間空港利用者数 （ANA便）	49.6万人	54.9万人	57.2万人	58.0万人	59.0万人	59.0/ 57.9万人	60万人	B
国際線利用者数（ソ ウル便・香港便・チ ャーター便）〔再掲〕	3.8万人	3.99万人	5.23万人	7.76万人	10.4万人	達成	9.5万人	A
DBSクルーズフェ リー乗客数（境港～東 海間） 〔再掲〕	1.7万人	2.77万人	2.81万人	3.37万人	2.63万人	—	年間3万人 以上の維持	C

平成30年（2018年）の取組状況

- ・米子空港利用促進懇話会や山陰国際観光協議会を通じ、県内外への観光PRのほか、市民に向けた利用促進を行った。また、米子空港ビルでのイベント開催等に出店及び支援を行った。
- ・国際定期便利用促進協議会を通じ、運行会社や旅行会社への支援、環日本海市民交流促進補助金により国際定期航路を利用した民間の国際的な文化・スポーツ交流を支援、国際定期航路のPRや支援制度の紹介を実施した。

(3) 社会基盤の整備

③ みなとを核とした官民連携による賑わいづくり

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
水族館設置に向けて の基本構想策定	—	0件	0件	0件	0件	—	1件	C
国内RORO船定期 航路就航	—	0件	0件	0件	0件	—	1航路	B
クルーズ客船寄港 年間観光客数 〔再掲〕	1.4万人	1.94万人	3.96万人	6.65万人	6.12万人	6.12/ 5.88万人	7万人	B

平成30年(2018年)の取組状況

- ・国内RORO船の試験輸送を2回実施した。令和2年度(2020年度)航路開設を目指し、今後も試験輸送を継続実施していく。

(4) 移住・定住の促進

① 移住・定住の促進・情報発信の充実

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
移住・定住者数	—	69人	149人	179人	209人	(606) 達成	600人 (5年累計)	A
市外在住者の定期 借地権契約件数	—	9件	6件	6件	5件	26/40件	50件 (5年累計)	D
地域おこし協力隊員 数	—	3人	3人	4人	1人	11/17人	21人 (延べ) (5年累計)	D

平成30年(2018年)の取組状況

- ・WEBマガジンに県西部圏域(2市7町)のリレー形式で移住者インタビューを掲載。また、ポータルサイトをリニューアルし新たな動画を作製し全国へPRをした。
- ・定期借地権制度をPRし、市外者を呼び込み、移住・定住の促進に取り組んだ。

【基本目標②】

○「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

(1) 少子化対策・子育て支援

① 出会いの場の創出

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
年間婚姻件数	386件	402件	434件	402件	411件	411/ 437件	450件	C
婚活支援事業参加者 数(圏域参加者数)	210人	251人	178人	151人	141人	721/ 960人	1,200人 (5年累計)	C

平成30年(2018年)の取組状況

- ・中海・宍道湖・大山圏域で連携して婚活事業を実施し、婚活イベントを米子市・松江市の2会場で開催した。

② 安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
合計特殊出生率	1.55% (H26公表値)	1.47% (H27公表値)	1.71% (H28公表値)	1.55% (H29公表値)	1.60% (H30公表値)	1.60/ 1.75%	1.80%	C
不妊治療後の母子 手帳交付者数	—	9人	13人	12人	20人	20/16人	20人	A
保育園待機児童ゼロ の維持	—	0人 (H28.4現在)	0人 (H29.4現在)	0人 (H30.4現在)	0人 (H31.4現在)	—	待機児童 ゼロの維持	B
児童クラブ受入児童 の拡大(小学校4～ 6年生の受入)	0校区	1校区	3校区	5校区	7校区	—	全7校区 実施	A
アンケート調査等 による公園利用者満足 度	—	未実施	60%	未実施	未実施	60/70%	70%以上	C

平成30年(2018年)の取組状況

- ・不妊治療に関して、平成29年度より、「一般不妊治療」「不妊検査費」に対する助成を開始し負担軽減につながった。
- ・待機児童ゼロの維持のため、加配保育士の配置に係る費用の助成や1歳児の保育に係る保育士の配置人数を国基準より多く配置した場合の費用の助成を実施した。
- ・市内全7校区で児童クラブの受入対象児童を小学校6年生まで拡充した。

(2) 女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

① ワーク・ライフ・バランスの啓発・支援

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
「鳥取県男女共同参画 推進企業」認定割合	3.2%	4.26%	5.33%	5.84%	6.16%	6.16/ 7.04%	8.0%	C

平成30年(2018年)の取組状況

- ・制度周知の説明会、事業所対象の講演会を開催し、第3次境港市男女共同参画推進計画の改定内容と併せてワーク・ライフ・バランスについての啓発及び理解の促進を図った。

② 女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減

項目	基準値	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
75歳以上人口に占める 要介護認定者の割合抑制	38.0% (2019年度見込)	33.74%	32.75%	34.70%	34.62%	—	37.0%	B
高齢者地域見守り 体制の整備	3地区 (2014年)	4地区	4地区	4地区	5地区	—	7地区	B

平成30年(2018年)の取組状況

- ・新規事業として「元気シニアを増やそう(フレイル^(※)予防)事業」に取り組み、講演会、フレイルサポーター養成講座、フレイルチェック、サポーターの連絡会などを実施した(14回、504人参加)
- ・高齢者地域見守り体制の新規組織化が進み、渡地区、外江地区、上道地区、余子地区、中浜地区で体制が整備された。

(※) フレイル…年を重ねて心身の活動(筋力・認知機能・社会とのつながり)が低下した状態のこと。

【圏域の目標】

○県境を越えた広域連携による魅力ある圏域づくり

(1) 中海・宍道湖・大山圏域市長会

項目	基準値 (2014年)	H27実績 (2015年)	H28実績 (2016年)	H29実績 (2017年)	H30実績 (2018年)	達成度 (累計)	2019年度 KPI	進捗 評価
圏域への観光入込客数	2,865 万人	2,849 万人	2,827 万人	2,745 万人	2,685 万人	2,685/ 3,669 万人	3,870 万人	C
圏域での外国人宿泊数	5.6万人	8.5万人	9.4万人	11.7万人	14.7万人	達成	11.2万人	A
山陰いいものマルシェ来場者数(圏域) 〔再掲〕	—	4.5万人	3.3万人	2.3万人	—	10.1/ 15万人	15万人 (3年累計)	C
ビジネスマッチング 商談件数(圏域) 〔再掲〕	—	531件	456件	711件	651件	(2,349) 達成	1,800件 (5年累計)	A

平成30年(2018年)の取組状況

<活力にあふれる圏域づくり：産業振興>

圏域企業の販路拡大支援として、海外に向けては、鳥取県の「ロシア中小企業・人的交流分野における協プラットフォーム」への参画、また、海外での商談会等へ参加する圏域内の事業者に対し、補助金を交付した。国内に向けては、ビジネスマッチング商談・展示会の開催や、圏域内での「山陰いいものマルシェ」の開催、圏域外(大阪市)での「山陰いいものプレミアムマルシェ」を開催し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、圏域内外に向けて情報発信を行った。

※山陰いいものマルシェのKPIとしては平成29年度で終了

<訪ねてみたい圏域づくり：観光振興>

クルーズ客船寄港時のおもてなしや、クルーズ客船乗客・クルー向け交流イベント、ボランティアガイドによる観光案内業務を実施した。また、三大都市圏等への観光プロモーションを実施し、圏域のPRに努めた。観光客誘致事業を機動的に展開するため、平成29年度に設立した圏域DMO「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を改組し法人化した。

<住みたくなる圏域づくり：環境の充実>

「中海・宍道湖子ども探検クルーズ」の開催や電気自動車の普及等の取り組みについての広報啓発を通して、圏域の豊かな自然環境について情報発信した。

<ともに歩む圏域づくり：連携と協働>

「中海・宍道湖・大山圏域伝統芸能祭」を開催し、各地域でしか見ることのできない伝統芸能を一堂に集め、鑑賞する機会を作り、圏域内外の交流人口の拡大と伝統芸能の伝承及び活用の機運の醸成を図った。また、「山陰まんなか未来創造塾」を開催し、圏域の将来を担う人材育成を圏域共同で実施した。